

交通安全 ヒマワリに願い

南富良野高生ら種配布し啓発

道の駅の来場者(中央)に、ひまわりの種や啓発グッズを手渡す南富良野高生



【南富良野】夏の交通安全運動初日の13日、富良野署員と南富良野高生が道の駅「南ふらの」で

観光客らにヒマワリの種などを配り、交通安全を呼びかけた。

同校ボランティア同好会が昨年、町内の花壇に植えたヒマワリから採取した種。栽培は、2011年に京都で交通事故により亡くなった4歳男児が育てていたヒマワリの種を受け継ぎ、命の大切さを伝える活動「ひまわりの絆プロジェクト」として全国に広がっている。

この日は同部の1、3年生3人と同署員が「交通安全をお願いします」と声をかけながら、種や反射材キーホルダーなどを手渡した。

同部3年の佐々木愛唯さん(18)は「笑顔で受け取ってくれる人が多くてやりがいがある」。同署の尾谷強交通課長は「観光シーズンで車が増える」と事故数も比例する。安全運転を意識してもらいたい」と語った。

交通安全運動は22日まで。

(川上舞)